
記事

[Hiroshi Sato](#) · 2022年7月11日 2m read

ルーチンやクラスメソッドをWindowsのコマンドプロンプトから呼び出す方法

iris コマンドを使用することで実行できます。

iris コマンド(iris.exe)は、<インストールディレクトリ> bin にインストールされています。 書式：

iris run インスタンス名 tag^routine([parameter-list]) ネームスペース名

iris run インスタンス名 ##CLASS(package.class).method([parameter-list]) ネームスペース名

インスタンス名は、管理ポータル（システム管理ポータル）の右上にある [インスタンス:] に表示されている文字列です。

実行する環境に応じて一部の文字 ^ や " をエスケープする必要があります。

Windowsの場合は、以下のようなエスケープが必要となります。

例：USERネームスペースで do info^test(123,"abc") を実行します。

```
c:\InterSystems\IRIS\bin>iris terminal IRIS info^test(123,"abc") USER
```

例：USERネームスペースで do ##class(Test.Class1).test(123,"abc") を実行します。

```
c:\InterSystems\IRIS\bin>iris run IRIS ##class(Test.Class1).test(123,"abc") USER
```

【注意】

ris run 等でルーチンやクラスメソッドが呼び出せないときは、%ServiceConsoleサービスの認証設定をご確認ください。

iris コマンドを使用する場合、通常のパスワード認証を行うことができません。

認証なしで実行するか、オペレーティング・システム認証を使用する必要があります。これを、%ServiceConsoleの「許可された認証法」で指定しておく必要があります。[管理ポータル]>システム管理>セキュリティ管理>サービス>%ServiceConsoleを選択

サービス編集

ユーザ _SYSTEM
ネームスペース %SYS

サービス %Service_Console の定義を編集

サービス名 %Service_Console

詳細 CTERM (TERM:pid) および Windowsコンソールをコントロールします

サービス有効 ☒

許可された認証方法

☒ 認証なし

☒ オペレーティングシステム

☐ パスワード

☐ Kerberos

☐ Kerberos証明書キャッシュ

キャンセル

保存

オペレーティング・システム認証の詳細については、関連トピックをご確認ください。

[オペレーティング・システム・ベースの認証構成について](#)

[#システム管理](#) [#InterSystems IRIS](#) [#InterSystems IRIS for Health](#)

ソースURL:

<https://jp.community.intersystems.com/post/%E3%83%AB%E3%83%BC%E3%83%81%E3%83%B3%E3%82%84%E3%82%AF%E3%83%A9%E3%82%B9%E3%83%A1%E3%82%BD%E3%83%83%E3%83%89%E3%82%92windows%E3%81%AE%E3%82%B3%E3%83%9E%E3%83%B3%E3%83%89%E3%83%97%E3%83%AD%E3%83%B3%E3%83%97%E3%83%88%E3%81%8B%E3%82%89%E5%91%BC%E3%81%B3%E5%87%BA%E3%81%99%E6%96%B9%E6%B3%95>